

■地域交流陶芸教室

# 地域の交流スペース『アルテリオ』に出かけよう

皆さんは『アルテリオ』をご存じですか。それは、JR下館駅から北へ徒歩約5分、稲荷町通りに面した一画に、中央地区再開発事業として建設された、ガラス張りの大きな建物の愛称です。ここでは、陶芸教室や料理教室などの各種講座や、郷土ゆかりの芸術家の展覧会など、数々の事業が展開されています。オープンして丸2年。地域の交流の場、ふれあいの場として、多くの方々に利用されている『アルテリオ』を紹介します。



## 3年目を迎えたアルテリオ

今月でオープン2周年となる『アルテリオ』は、地域交流センターと美術館の2つの機能を持った施設です。平成15年8月1日、地下1階から地上2階までの『しもだて地域交流センター』が、3か月遅れて11月1日には、3階の『しもだて美術館』が開館しました。以来、生涯学習の場として、地域住民の憩いの場として、連日、たくさんの方々に利用されています。

3階の美術館では、文化勲章受章者の陶芸家・板谷波山氏や洋画家・森田茂氏を始めとする、ふるさとゆかりの芸術家たちの、素晴らしい作品を紹介する展覧会が開催され、市民だけでなく、県内外からも多くの方が訪れています。また、昨年は全館を使って、深田恭子さんや岡田真澄さんが出演するドラマの収録が行

われ、テレビデビューもしました。

太陽の光がふりそそぐ、明るい館内には、用途に応じたいろいろな部屋があります。まず、1階の入口を入ると、ロビー、日替わりランチが楽しめる喫茶コーナー、180人を収容できる集会室、IH電磁調理機器を備えた調理室、来館案内をしてくれるほっと息ステーション、郷土芸能展示コーナー。

らせん階段で2階へ上がると、音楽もできる練習室、工作活動のできるクラフト室、水屋を備えた25畳の和室、人数に合わせて使用できる会議室・研修室・セミナールーム、ガラス張りのこども室やサロン、市民ギャラリーがあります。

さらに地下には、98台駐車できる専用駐車場、防音設備のある大練習室、陶芸窯を備え、本格的に陶芸を行うことができる陶芸室があります。これらの立派な設備を利用して、館内では、いろいろな自主講座や教室が行われています。

## 世界で一つの作品づくり

地下の陶芸室では、好評だった昨年に引き続き、今年も地域交流センター主催の陶芸教室が開催されています。約20人が参加し、月に2回、講師の丸山陽子先生（大関）のご指導のもと、仲良く和気あいあいと陶芸制作に励んでいます。

教室には、老若男女を問わずいろいろな方が参加しており、「昨年参加した友人に聞いて興味を持ちました」とか、「以前から笠間焼きなどを見ていて、自分でも作ってみたいと思っていたんですよ」とか、「ずっとやる機会を待っていました」と、皆さんとても熱心です。感想を聞くと口々に楽しいとおっしゃいますが、粘土に触っているときは気持ちが集中していて、おしゃべりする人がいません。講座の150分が、あっという間に過ぎてしまいます。

土いじりは心を穏やかにしてくれると聞いたことがあります、皆さんに作ってみた感想を尋ねると、「ストレス解消になりました」「形になっていくのが楽しいですね」「きちんとしたものを作るのは大変。でも私が作った世界でたった一つのものだから、出来上がりが楽しみです」と大好評。「厚さをはかるのが思ったより難しいですね」と、作って初めてわかった苦労話もでした。

丸山先生は、みんなの自主性に任せながらも、的確な指導と技術で、失敗作品になりそうなものでも立派な作品に導いてくださいます。「陶芸は、作る楽しさと最後に使う楽しさも味わうことができるのよ。自分で作るようになる、いろいろな器を今までは違う目で見ることができると、もっと親しみが持てるようになるでしょう」と陶芸の素晴らしさを、そして「成形がどんなに良くできても、窯から出ないと作品にはなりません。出してみないとわからないんです」と陶芸の難しさもおっしゃっています。陶芸教室のメンバーは、「自分たちの作った湯のみでお茶会をしたいね」と、今から11月の窯だしを楽しみにしています。

陶芸に限らず、何でもやってみなくては結果はわかりません。地域交流センターでは、茶道・華道・料理などいろいろな講座を企画しています。また、市民の皆さんが自主的に会場を借りて活動・運営する自主教室も増えつつあります。

あなたもアルテリオに来て、何かに挑戦してみませんか。見慣れた日常生活が、きらきらと輝きだすかもしれませんよ。



### ■このコーナーを担当したのは

わたなべ あけみ  
渡辺 明美さん（岡芹）



私も陶芸に挑戦。いったん粘土を手にしたら、それまでのおしゃべりも忘れ、作品作りに夢中になってしまいました。11月には、どんな素敵な作品が仕上がるでしょうか。